

仲道 郁代

# クラシックはじめの一歩

シナリオ構成  
満久 俊彦  
Toshiko Uchida

しらかわホールでのオリジナルコンサートとしてスタートした、仲道郁代「クラシックはじめの一歩」、みなさまから大きな反響をいただいているこのシリーズも、いよいよ第4回目を迎えます。今回のテーマは、ドイツ・ロマン派のふたりの巨匠、シューベルト&シューマンです。ソプラノ歌手の天羽明恵さんをゲストに迎え、美しい歌声とゆかいなおしゃべりで素敵な午後のひとときをお届けいたします。

Profile



仲道 郁代  
Hayo Nakamichi (Piano)

大学1年在学中に、第51回日本音楽コンクール第1位、あわせて増沢賞を受賞。これまでに国内外のオーケストラ、国際的な指揮者、アーティストとの共演、サンクトペテルブルク、ベルリン・フィルハーモニーホールでのコンサートデビュー、カーネギーホールでのリサイタル等、海外でのキャリアも確立している。

リサイタルを日本各地で行う他、クラシックファンを広くしたいの思いから生まれた録音プログラム「仲道郁代のクラシック」、未就学児(3歳以上)を対象に好評を博した「星のどうぶつたち」の2作目「スライドとおはなしてつづる動物たちの詩“光のこどもたち”」が2004年5月からスタートし、それぞれ個性豊かなプロジェクトを提供している。

また近年では「ベートーヴェン・ピアノソナタ全曲演奏」の真摯な取り組みと高い音楽性が評価され、2002年6月より約1年と半芸術劇場にて、4年間全12回に亘りベートーヴェンのピアノソナタ全曲を録音録音と解説しながら演奏する、という画期的なシリーズに取り組み、また同時に収録も行っている。CDはBMGファンハウスから全11枚リリース予定で、現在4枚リリース中。その中3枚(VA.1,2,3)は「レコード芸術」特選盤として紹介され、高い評価を得ている。

仲道郁代オフィシャルホームページ <http://www.ikyuo-nakamichi.com>



天羽 明恵  
Akie Amou (Soprano)

東京藝術大学卒業。93年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてシットアウトガールに留学。95年ラインスベルク音楽祭でディレマン指揮(テラス島のアリアドネ)にツェルビネッタで出演。さらにソニア・ノルウェー女王記念第3回国際音楽コンクールに優勝し一躍注目を集める。その後ドイツを拠点としジュネーヴ大劇場、ザクセン州立歌劇場(ゼンパー・オーバー)、ベルリン・コームィッシュ・オーバー等ヨーロッパ各地の歌劇場や音楽祭に出演。ヘンデル、モーツァルト、ロッセーニ、ヴェルディ、貝シットラウスからリゲティまで幅広いレパートリーを持ち、数多くの公演で主要な役を演じている。ソリストとしてもサヴァリッシュ、ロジェストヴェンスキー、小澤征爾、バルネボイム、デュトワ、コンロン等の指揮で国内外のオーケストラと共演。越境的なコラボレーションとリリックな声をもつ。内外で高い評価を得ているのが国際的ソプラノ歌手。1999年度アソシエ、2003年第14回新日録音音楽フレッシュアーティスト賞をそれぞれ受賞。

(2004年)

## 【コンセプト】

音楽に感動するとき、わたしたちは音楽に「何か」を感じているはず。その「何か」を求めつけた大作曲家たちの思いを、いかに心に響くように伝えられるかが、このプロジェクトのテーマです。スライドによる美しい画像と、仲道さんの語り口ややさしいトークで、音楽の魅力を色々な角度から感じて頂けるシリーズです。「はじめの一歩」というタイトルには、音楽家の精神な魅力に親しむ小さな「一歩」になればという願いがこめられています。



Vol.1  
ベートーヴェンの  
コンサートから



Vol.2  
モーツァルトの  
コンサートから

クラシックはじめの一歩

## 【これからのみどころ】

第5回「ドビュッシーからラヴェル」では、フランス近代音楽独特のきらびやかな色彩感をお楽しみください。そして、最終回は、これまでの作曲家からの視点も、ピアノからみた音楽の歴史という視点に移し、「ピアノで語る音楽の旗」というテーマで、壮大な音楽の歴史を数々の名曲とともにお届けいたします。この最終回は、仲道郁代さんが、ピアノとチェンバロを弾き競べるという、彼女自身初めての試み(ファン必見!)も計画されています。どうぞご期待ください。

### ACCESS MAP



交通のご案内(市バス) 市バス100番線 西武池袋線 池袋駅西口徒歩10分  
交通のご案内(都営バス) 都営バス池袋線 池袋駅西口徒歩10分